

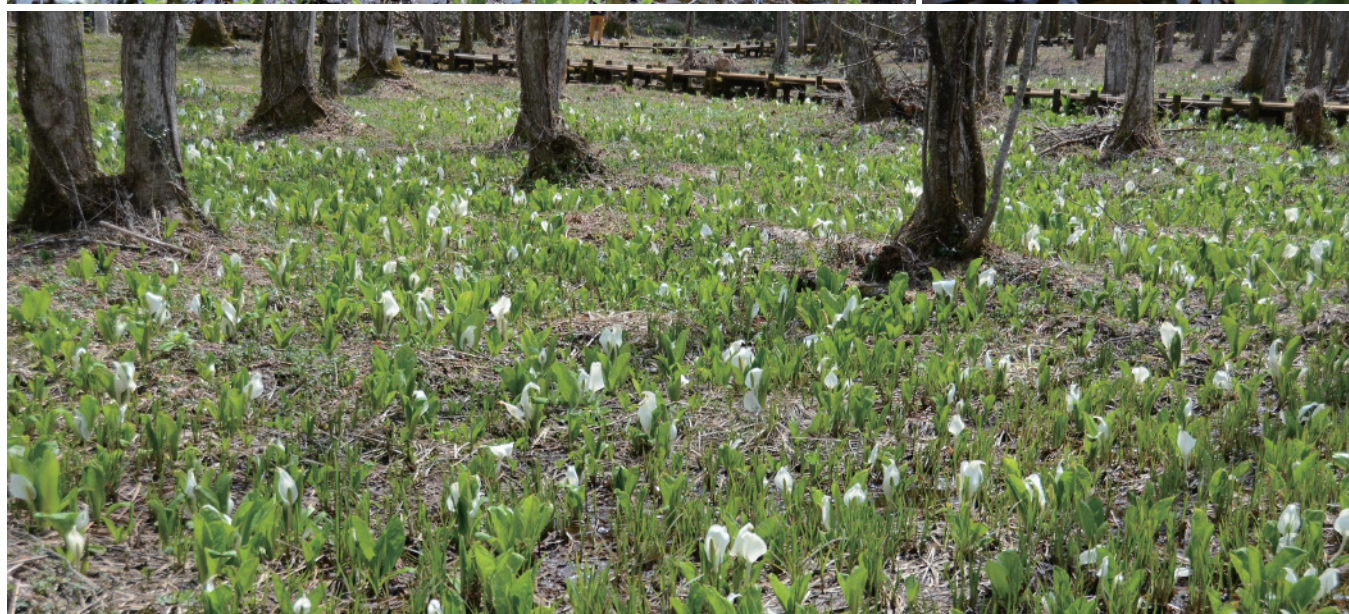
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2024-25年度 国際ロータリー第2540地区ガバナー月信

February
2025

3

Vol.9



2024-2025年度 第2540地区 スローガン

『小さな奉仕を積み重ね、希望の未来へ前進しよう』

ロータリー特別月間 3月 | 水と衛生月間

2024-25年度 ガバナー
佐藤 和志

2024-25年度 国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック



ガバナーメッセージ

水と衛生月間に寄せて

国際ロータリー第2540地区
2024-2025年度ガバナー

さとう かずし
佐藤 和志



「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、暖かい春はもう少し先のようなこの頃です。

さて、ロータリーでは、3月を『水と衛生月間』として活動を求めています。日本では当たり前蛇口をひねると安全な水が出ます。しかし、世界中には飲み水を安全で安心して飲める国は少ないのです。海外旅行をしますと、よく「生水は絶対ダメ」と言われます。ミネラルウォーターも安全かというところでもなく、ある国に行ったとき蓋の開いたビンのミネラルウォーターを出されたときもありました。怪しい水は飲まないことです。

災害時では水道・電気が止まり、ライフラインが遮断された時のための準備が必須となります。最近は大船渡の山林火災など地震だけでなく、まさかの災害に見舞われました。自衛隊機の空からの消火活動にも拘わらず、なかなか鎮火できませんでした。結局自然の雨が降ることでようやく鎮火。自然の力に人知は及ばないようです。この度の火災に見舞われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。当地区からも皆様のご浄財をお贈り致しました。

ボーイスカウトの合言葉に「常に備えよ」という言葉があります。危機管理が叫ばれています。あらゆる危機(自然災害、詐欺・強盗などの犯罪、交通事故、感染症、熊・・・)を想定し、常日頃から備えを万全にしなければと思います。

3月はコップ一杯の水の有難さを味わう『水と衛生月間』です。

PRESIDENT'S MESSAGE



2024-25年度国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

(米国ペンシルベニア州のマクマリー R C 所属)

一つの小さな行動

3月がやって来ました。ロータリーでは「水と衛生月間」。活動の中でも最も変革をもたらす分野の一つにスポットライトを当てる時期となります。

今月は、ロータリーのマジックと、私たちが同じ決意とH的を持って団結したときに生み出される大きなインパクトについて考える機会です。

何年も前、私はドミニカ共和国でこのマジックをHの当たりにしました。会員のグループが浄水器の取り付けを手伝ったのですが、濁った水がフィルターを通してきれいな水になって出るのを3人の子どもが驚いたように見つめていました。水をいったん止めると、1人の子どもが私の袖を引っ張って、「もう一度マジックを見せて」とせがんだのです。

彼らにとって、それは魔法だったのです。それはまた、無数の努力の結晶でもあります。安全な水の提供に取り組む地元のパートナーと協力して計画し、浄水器を運び、設置しました。あの時、私は一つの小さな行動が人々の生活を変えることができることに気付きました。それこそがロータリーのマジックです。

この話は、世界中のロータリーファミリーが変化を生み出せるという素晴らしい可能性を証明するものです。水プロジェクトは、ロータリーのインパクト、パートナーシップ、生活改善への揺るぎない献身を象徴しています。ロータリーと米国際開発局 (USAID) の協力関係を考えてみてください。このパートナーシップにより、私たちはドミニカ共和国やガーナ、フィリピン、ウガンダで、何千人もの人々の持続可能な水と衛生設備へのアクセスを改善するために、地域社会や政府と協力できました。

パートナーシップは、ロータリーが力を合わせることで、より大きな影響をもたらすことができることを私たちに思い出させてくれます。国連環境計画 (UNEP) との戦略的パートナーシップを通じて、私たちは「淡水保全のためのコミュニティアクション」イニシアチブを進めています。このプログラムは、淡水生態系の保護や回復、持続を目的としたツールやリソースをロータリー会員に提供するものです。

さらにロータリーの補助金を利用し、地域社会で安全な水の推進活動を行うことで、個々のプロジェクトをはるかに超えた波及効果が生まれます。

今月の月間の頂点分野「水と衛生」を心に留め、私は全てのロータリー会員に新たなパートナーシップを模索するよう呼びかけます。協力し合うことで、私たちの力は倍増し、支援を必要とする、より多くの人々を支援できるようになるからです。

地元団体と協力、国際機関と提携、地域社会を動員。皆で一步を踏み出すたびに誰もが安全な水と衛生設備を利用できる世界へと近づきます。

ロータリーのマジックは、他団体と協力し、末永く続く好ましいインパクトを生み出すときに最も輝きます。力を合わせれば、夢を現実のものとし、人々の生活や地域社会を変えることができます。その結果は時に魔法のようだと感じられるかもしれませんが、それは私たちのコミットメントと思いやりの力が生み出すものなのです。今月、そしてこれからも、このマジックを通じてさらなる変化を生み出しましょう。

RLIラーニング・セミナー PARTⅡ ファシリテーター養成研修 報告書

RLI委員長 桑原 透(秋田RC)

2024年10月12日(土) 9時30分からガバナー事務所隣室にて、「RLIラーニング・セミナーPARTⅡ ファシリテーター養成研修」を11名が参加して開催しました。

来る11月10日開催のRLIラーニング・セミナーPARTⅡにて、受講者が活発な意見交換が出来るよう進行役としての役割を十分に果たすことを目的に模擬練習に取り組みました。

PARTⅡは、12名のファシリテーターが、二人一組で各セッションの進行役を務めます。

始めに、PARTⅡの担当者を決めて、次にファシリテーターの在り方について議論し合った後に、各セッションの模擬練習を1人当たり25分間ずつ行ないました。

PARTⅡは、PARTⅠを受けて更に肉付けする内容であるため、ティーチングとコーチングをバランスよく織り交ぜながら取り進めることが要求されます。

ファシリテーターとしていかに受講者の理解と発言を促すかを中心に、大事なポイントを確認しながら充実した研修となりました。

PARTⅡを受講する22名のロータリアン全員が有意義な研修だったと感じられるように、ファシリテーター自身も楽しみながら務めてまいります。

RLIラーニング・セミナー PARTⅢ ファシリテーター養成研修 報告書

RLI委員長 桑原 透(秋田RC)

2025年2月15日(土) 9時30分からガバナー事務所隣室にて、「RLIラーニング・セミナーPARTⅢ ファシリテーター養成研修」を8名が参加して開催しました。

来る3月9日のRLIラーニング・セミナーPARTⅢにて、受講者が活発な意見交換が出来るように進行役としてのファシリテーターの役割を十分に果たすべく、模擬練習に取り組みました。

PARTⅢは、12名のファシリテーターが、二人ないし三人一組になって各セッションの進行役を務めます。

始めに、PARTⅢの担当者を決め、続いて良いファシリテーターの在り方について議論し合った後に、各セッションの模擬練習を1人当たり25分間ずつ行ないました。

PARTⅢは、全体的に大きな視点で捉える内容が多く、PARTⅠ、Ⅱを受講した上での学びとなることから、各セッションの問いの進行も総合的に捉えてもらう導き方が難しく工夫を要し、受講者の理解と発言をいかに促すかのポイントを確認しながら行ない、大変充実した研修となりました。

PARTⅢを受講する22名のロータリアン全員が、有意義な研修だったと感じてもらえるように、ファシリテーター全員一丸となって務めます



RLIラーニング・セミナー PARTⅢ 開催報告書

RLI委員長 桑原 透(秋田RC)

今年度9月のPARTⅠ、11月のPARTⅡに続き、2025年3月9日(日) 9時20分から秋田テルサにて、RLIラーニング・セミナーPARTⅢを20名が参加して開催しました。(当初22名参加予定も当日欠席者2名。午前での早退者1名あり。)

12名のファシリテーターと共に、セッション1～6を各セッション50分で6時限にわたって受講し、早退者を除く19名がPARTⅢを修了しました。

開会式では、佐藤和志ガバナーの挨拶と、委員会から当日の流れの説明を行なった後で、5会場に分かれて各セッションに取り組んでももらいました。

PARTⅠ、Ⅱ同様に、各人が積極的に意見交換し、ロータリーについて気づきを得る機会になったものと拝察します。

併せて、他クラブの会員とディスカッションすることでより良い交流が出来たと思います。

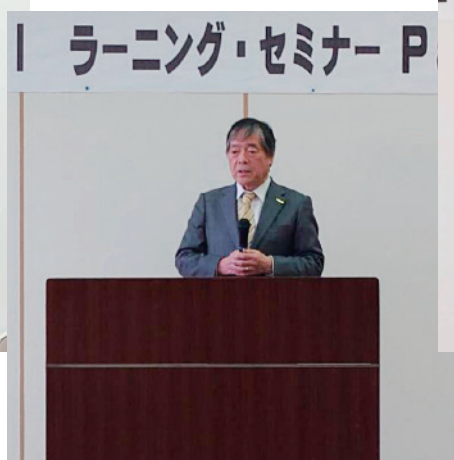
ご参加くださった皆様には、長丁場の受講でお疲れだったと思いますが、充実して楽しかったとご評価くださり安堵しています。

今年度の事業は、ラーニング・セミナーPARTⅠ、Ⅱ、Ⅲ並びにファシリテーター養成研修PARTⅠ、Ⅱ、Ⅲを無事開催できたことが何より嬉しく、委員会にとっても大変充実した一年でありました。

RLIを受講することで、今のロータリーを知り、ロータリアンとしての成長と、ロータリーと地域社会との関わりを整理することが出来たでしょうし、自分が所属するクラブをより明るく楽しく活性化しながら個性溢れる強いクラブづくりへと自らが仲間と共に導いていける可能性を感じ取れたことでしょう。加えて、他クラブのロータリアンとの交流が、自身やクラブ、当地区をより充実させる源となり、楽しいロータリーライフになるものと考えます。

次年度も、PARTⅠ、Ⅱ、Ⅲを開催いたしますので、全てのクラブから多くのロータリアンがRLIラーニング・セミナーを受講くださるよう期待しております。

どうぞ宜しくお願いいたします。



会員拡大増強委員会 開催報告書

委員長 今野 宏(大曲RC)

2025年3月2日(日)12時30分からガバナー事務所隣室およびオンラインのハイブリット形式にて、15名(内、オンライン4名)が出席して会員拡大増強委員会を開催しました。

始めに、佐藤和志ガバナーの挨拶と、今野宏委員長から現況報告並びに(年度末までに目標の1,180名に近づけるための)今後のお願いについて説明がありました。

次に、塩谷國太郎DEI行動計画委員長から、過日行なったクラブの健康調査アンケートについての報告と全クラブの行動可否についての評価説明を行ないました。

続いて、富樫龍紀成長戦略計画委員長より、3月末にRI日本事務局へ提出する「地区成長戦略策定並びに方策」について説明がありました。

また、3月23日に開催の合同分区協議会にて、各クラブへ会員増強強化や目標達成のお願いをするとともに、佐藤ガバナーと今野委員長が再度数クラブへ訪問して、直接クラブ会長らと打合せしながら行動してくので、ガバナー補佐と委員へ協力をお願いしました。さらに、小さいクラブや会員数の伸び悩んでるクラブの応援をしていくこととしました。

会場参加者			
ガバナー	佐藤 和志	ガバナーノミニー	土舘 守
会員拡大増強委員長	今野 宏	DEI 行動計画推進委員長	塩谷國太郎
成長戦略計画委員会	富樫 龍紀	北区ガバナー補佐	西村 政幸
南区ガバナー補佐	田村 典美	会員拡大増強委員	桑原 透
地区代表幹事	三浦 大英	地区幹事	熊沢 正志
地区幹事	加賀 美奈		
zoom 参加者			
ガバナーエレクト	桑山 明久	南区ガバナー補佐	加賀清太郎
会員拡大増強委員	佐藤志津子	会員拡大増強委員	佐々木孝憲



DEI行動計画推進委員会並びに地区成長戦略計画委員会

地区幹事 加賀 美奈

2025年3月2日(日)14時からガバナー事務所隣室およびオンラインのハイブリット形式にて、21名(内、オンライン5名)の参加で開催しました。

始めに、佐藤ガバナーより12時30分からの会員拡大増強委員会の協議内容の説明を含めた挨拶がありました。

次に塩谷國太郎DEI行動計画推進委員長より、これまでのアンケート結果をふまえ、行動計画(アクションプラン)の策定の必要性について説明がありました。

特に、クラブに対し3年計画で(Three year Rowling)クラブ事業を計画し活気あるクラブ運営ができるよう今後周知していきたいとお話がありました。

次に、成長戦略計画委員会の富樫龍紀委員長より、月末にRI日本事務局へ提出する「地区成長戦略策定並びに方策」について説明がありました。RIへ提出する資料へこれまで協議してきた内容を記載し、見直しと共に出席者一人一人から意見を聞き提出資料の回答を取りまとめました。また、課題として、他地区との合併や地区運営の効率化などの意見が出ました。

会場参加者					
ガバナー	佐藤 和志	ガバナーノミニ	土舘 守	DEI委員長	塩谷國太郎
成長戦略委員長	富樫 龍紀	北区ガバナー補佐	西村 政幸	中区ガバナー補佐	田村 典美
危機管理委員長	地葉 新司	会員拡大委員長	今野 宏	RLI委員長	桑原 透
職業奉仕委員長	佐藤 正行	青少年奉仕委員長	加賀 美奈	DEI委員	辻 卓也
地区代表幹事	三浦 大英	地区幹事	熊沢 正志		
zoom参加					
ガバナーエレクト	桑山 明久	R財団委員長	柳谷 悦磨	南区ガバナー補佐	加賀清太郎
青少年交換委員長	金子 雄司	国際奉仕委員長	渡部 羊三	RI国際大会委員長	高橋 右



中区インターシティミーティング 報告書

中区秋田分区ガバナー補佐 田村 典美

2月22日(土)秋田キャッスルホテルにおいて、『2024-2025年度中区インターシティミーティング』を開催しました。

基調講演講師に秋田大学医学部附属病院 産婦人科医師の藤嶋明子氏をお迎えし、「秋田の未来を共に創る：女性の力と地域連携で築く共生社会」をテーマにご講演いただきました。女性が社会で十分に力を発揮するための、月経や妊娠・出産といったライフステージに伴う課題やその支援について、普段は話題にすることをためらいがちな内容にまで踏み込んだお話を伺うことができました。講演後の質疑応答でも活発な意見交換があり、大変有意義な時間となりました。第2部の懇親会にも多くの皆様にご参加いただき、和やかに楽しく親睦を深めることができました。

この会を無事盛会のうちに終了することができましたのも、各クラブの皆様の温かいお力添えと友情の賜物と、心より感謝申し上げます。

今回のIMが今後の皆様のロータリー活動にとって少しでも役立つものであることを願い、報告いたします。



新会員紹介



入会クラブ 花輪ロータリークラブ
氏名 柳澤 康隆 (やなぎさわ やすたか)
職業分類 鉄鋼業
勤務先 (株)柳澤鉄工所
役職 代表取締役
入会年月日 2025年3月3日
紹介者 浅石 敏明



入会クラブ 田沢湖ロータリークラブ
氏名 田口 寿宜 (たぐち ひさよし)
職業分類 食品卸・市議会議員
勤務先 善五郎豆腐店
役職 総務文教常任委員会委員長
入会年月日 2025年3月
紹介者 熊沢 正志・長谷川 善樹

ロータリー財団

秋田北ロータリークラブ

嶋田 康子 Shimada Yasuko

入会年月日 1996年11月
 2008～2009年 クラブ会長
 2019～2020年 ガバナー
 米山功労者 3回目



米山功労者紹介

秋田ロータリークラブ

鈴木 茂夫 Suzuki Shigeo

入会年月日 1974年1月9日
 2009～2010年 クラブ会長
 米山功労者 9回目
 マルチポールハリスフェロー



会員数の増減及び出席率

区分		クラブ名	会 員 数					会員数の増減		年度平均 出席率
			2024年 6月末	2024年 7月末(A)	2025年 2月末(B)	うち 女性	うち 40歳未満	増減数 (B)-(A)	純増割合	
北 区	大館・鹿角分区	大 館	37	36	38	4		2		
		花 輪	20	20	18			-2		
		鷹 巣	7	7	7	1		0		
		大 館 北	21	17	19	3	1	2		
		十和田秋田	25	26	27	1	1	1		
		大 館 南	31	31	31		1	0		
		大 館 中央	14	15	15	1		0		
	能代・男鹿分区	能 代	51	51	52	9	2	1		
		男 鹿	10	9	9	3		0		
		二 ツ 井	5	5	5			0		
		五 城 目	12	12	12			0		
		潟 上	30	33	31		1	-2		
		男 鹿 北	11	11	10			-1		
		山 本	12	12	12		1	0		
能代白神	13	14	14	6		0				
中 区	秋田分区	秋 田	106	105	109	5	2	4		
		秋 田 東	83	83	76	4	1	-7		
		秋 田 港	47	46	44	8		-2		
		秋 田 北	57	58	57	5	1	-1		
		秋 田 南	35	38	40	4	1	2		
		秋田中央	40	40	41	5		1		
		秋 田 西	17	20	19	2	2	-1		
	本荘・由利分区	本 荘	33	33	34	1		1		
		矢 島	7	7	7			0		
		象 潟	8	8	9	1	0	1		
		本 荘 東	19	17	17	2		0		
本 荘 南	5	5	6	2		1				
南 区	大曲・仙北分区	大 曲	42	43	48	3	2	5		
		角 館	13	14	14	3	1	0		
		大 曲 南	14	14	14	2		0		
		大曲中央	8	8	11	6		3		
		田 沢 湖	17	17	17	1	1	0		
		大曲仙北	11	11	11	5	1	0		
	横手・湯沢分区	湯 沢	65	66	69	2	3	3		
		横 手	53	53	53	2		0		
		横 手 南	67	67	66	0		-1		
		西馬音内	15	14	12		1	-2		
		湯 沢 南	22	22	22	1	2	0		
		稲 川	13	13	14	3	1	1		
		横 手 東	11	11	11			0		
合 計			1,107	1,112	1,121	84	19	9		

①※印のクラブは未提出のクラブでマイロータリー参照

②40歳未満の会員数は未記入のクラブが多いため回答があったクラブのみの集計